

第67回福井県公民館大会

平成29年9月20日(水) 敦賀市 プラザ萬象



表彰式



江岸会長のあいさつ



ソプラノデュオ つるがーる♪



敦賀市長 淵上隆信氏

第67回福井県公民館大会は敦賀市プラザ萬象にて「学びを通じた地域づくり」をテーマに開催され、県内各地から公民館等関係者約300人が一堂に集いました。

開会のあいさつでは江岸会長が、市制80年を迎え、北陸新幹線開業に向けて非常に活気のある敦賀市においてこの大会が行われることへの敬意と謝意を表しました。また近隣の県を見ても公民館を取り巻く状況は大変厳しい状況にある中で、私達は公民館が地域の住民にとってなくてはならない存在となるよう日々精進していかなくてはならない、と会場に呼びかけました。

表彰式では福井県公民館連合会表彰が9名、広報紙コンクール12館、福井県公民館連合会表彰9名の表彰が行われました。続いて県教育長松田健志教育振興監をはじめ、来賓の方々よりお祝いや歓迎の言葉をいただきました。

閉会の後、広報紙コンクール審査委員長の加藤福井新聞社編集局メディア整理部長からコンクールの総評がありました。

記念講演では、様々なジャンルの「人間関係学」のパイオニアとして活躍



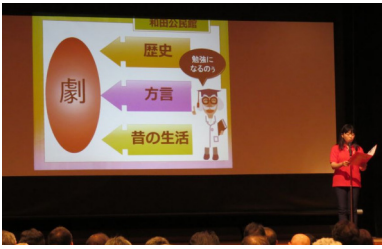
講師 三好良子先生



の人材育成コンサルタント三好良子先生をお迎えして、「人間力&関係力を磨くレシピ」というテーマで講演をいただきました。先生は「いいとこさがしの達人」になって、人と人の間を豊かにする術について、「相手がどう受けとったかを確認する事が重要」と語り、キーワードとして「やる気・勇気・根気」の3つの「気」を挙げました。自分にゆとり・さとりを持つ事、どんな状態であっても生き抜く人間力を磨き、他者の意見に耳を傾ける事が重要であり、それによって今の自分も、未来の自分も変える事が出来るとお話されました。会場に降り立つて参加者に直接問いかける場面では様々な意見が引き出され、学びの多い講演となりました。

平成 28 年度文部科学省優良公民館事例発表

福井市和田公民館



上野正代主事



“くちパク博士”こと、北島喜一館長

くちパク和いわい劇団の方々も発表に駆けつけてくださいました。



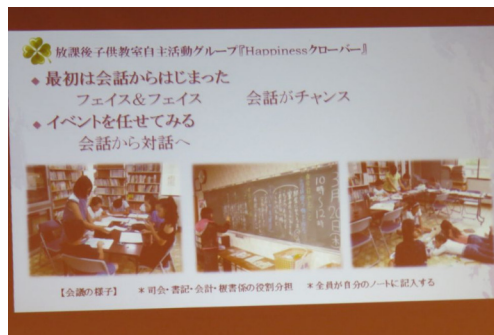
越前市大虫公民館



女性学級「OJ課」



山本智子主事



放課後子供教室自主活動グループ「Happinessクローバー」について



石山勇夫館長

昼食をはさみ、午後からのアトラクションではソプラノデュオつるがるによるミニコンサートが行われ、童謡を含む全7曲を鑑賞しました。澄んだ美しい歌声に会場は魅了され、優雅なひとときを楽しみました。

さらに、平成28年度文部科学省優良公民館に選出された福井市和田公民館と越前市大虫公民館の事例発表が行われました。和田公民館は特色のある教育事業として「くちパク和いわい劇団」を立ち上げたいきさつについて、くちぱく博士から説明がありました。この劇団は、セリフをそれぞれのキャストがテープに録音し、その音声に合わせてオーバーな身振り・手振りで演じるものです。地区の歴史を寸劇で次世代に伝承すること、郷土への愛着を深めてもらうことを目的としています。また越前市大虫公民館は子どもの自主活動グループと女性学級の取り組みの経過と現状をユーモアあふれる話術で会場を笑いに包みました。いずれの事例発表も地域の特色を活かしながら、子どもたちや地区の方々を上手に地域参画へと促す事業に結び付けていました。